

平成21年1月31日、新図書館ワークショップの参加者を対象とした図書館視察研修を開催しました。

視察先は、茅野市立図書館と茅野市民館図書室、及び、富士見町立図書館です。

これらの図書館は、駅に隣接しており、施設や運営を実際に見学することで、今後のワークショップを充実させ、魅力ある新図書館の建設を目的に開催したものです。

当日は、25人の参加者により、図書館の施設面や運営面などについて研修することができました。

茅野市立図書館



茅野市は生涯学習をはじめとし、公民協働が大変充実したまちです。

「読リーむ in ちの」という市民団体が、ブックスタートや読み聞かせなどの取り組みについて、行政と協働して実施しています。

茅野市立図書館 正面玄関

左側の建物は美術館でしたが、移転をしたため図書館となりました。



書架や特設コーナーなど、あらゆるところにアイデアが満載です。



大きな窓に面したこの机と椅子は、後から設置したもの。この椅子の設置にも市民参加によるアイデアが取り入れられています。利用者からも大変好評です。

茅野市民館図書室



茅野駅に隣接し、コンサートホール(300席)や美術館などの施設を持つ茅野市民館の中に図書室があります。

モダンなデザインの建物は、駅舎と隣接しており、駅の待合室としても利用されています。

長いスロープに沿いにある図書室
両面ガラス張りで、スロープの上は
駅からの通路とつながっています。

右側の建物が「茅野市民館」です。



富士見町立図書館



富士見町立図書館は、書籍の貸出数が同規模自治体の中では、日本一です。

図書館は、公民館と博物館と併設され、駅に隣接した複合施設の中にあります。

子どもたちが読みやすいように工夫された山型の机や、返す本棚の場所を忘れてしまった場合に入れておく箱など、細かい点への配慮がされていました。

窓ガラスの外は線路と景色が見え、低い書架が設置され、のんびりと、広々とした空間が広がっています。

館内の様々な場所に違った雰囲気の座席が用意され、利用者は自分の好みに合った座席で本を楽しむことができます。



一般室の奥にあるスペースは、書架が高く落ち着いた雰囲気で勉強できる空間です。



第3回ワークショップでは、今回の視察研修での気づきを活かして作業を行ないます。

他市町の図書館の施設や運営などを実際に見て研修することができ、改めて新小諸図書館について、みんなの思いを持ち寄り、魅力ある新図書館を創っていきたいと考えています。

